

長期暴露用防水層保護化粧材(2液混合型水性アクリルウレタン系トップコート)

# タケシールSSトップ<sup>®</sup>

タケシールSSトップは、ウレタン防水層などの性能を長期間保護し、維持するために適した耐候性に優れた保護化粧材です。

従来の水性塗料では難しかった溶剤系塗料同等の平滑な仕上がりが得られます。ウレタン反応により形成された塗膜は溶剤型ウレタン防水材との密着性に優れ、緻密且つ強靱で耐薬品性、耐摩耗性に優れます。

## ◆特徴

1. 従来の1液水性塗料に比べ、耐水性、耐溶剤性に優れています。
2. 塗面は従来の防水用水性上塗り塗料に比べ優美な高光沢に優れています。
3. 高耐候性塗料なので、屋外で長期にわたり退色しません。
4. 緻密で強靱な塗膜の為、耐汚染性・耐摩耗性に優れています。

## ◆用途

屋上、ベランダ等の塗膜防水層への長期的な保護美装

## ◆荷姿

11kgセット・3.3kgセット

## ◆配合比

A液:B液=1:10(重量比)

## ◆標準塗布量

0.12~0.15kg/m<sup>2</sup>

## ◆希釈

無希釈でご使用下さい。(用具等の洗浄は水道水をご使用下さい。)

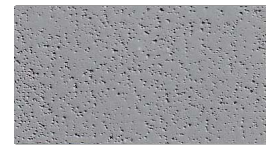
## ◆標準色



グレイ(日塗工 H75-60B 近似)



グリーン(日塗工 E42-40H 近似)



特殊骨材Gを混合した防滑な仕上げ

※調色対応につきましては、11kgセットのみ対応させていただきます。

## ◆使用方法

1. 使用する前に、B液が入っている缶の天板を切り取り、電動攪拌機で缶の底から十分に攪拌して内容物が均一な状態となるようにして下さい。
2. A液・B液の必要量をハカリを用いて重量比1:10の割合で混合、電動攪拌機等で十分攪拌して塗布液を作製して下さい。
3. 作製した塗布液を可使用時間内にローラー、刷毛等にてm<sup>2</sup>あたり0.12~0.15kgを均一に塗布します。  
防滑仕上げの場合は、塗布液に対し重量比で5%の特殊骨材Gを添加、十分に攪拌の上、均一に塗布します。

塗料温度	10℃	20℃	30℃
可使用時間	3時間	3時間	2時間
歩行可能時間	12時間以上	12時間以上	10時間以上

## ◆使用方法

タケシール #101カ-防水材	タケシール 1液 NEO+	タケトップ	タケシール AQ 防水 TypeS	FRP防水塗膜
◎	◎	○※1	◎	○※2

※1 冬季の施工では、液溜まりできないように塗布してください。

※2 FRP塗膜の場合は、#60~#80程度のペーパーで研磨し、ワックス成分を除去します。

## 施工例（環境対応型ウレタン防水工法）

工程	使用材料	方法	塗布量 (kg / m <sup>2</sup> )	塗装間隔 (気温 20℃時)
下地		下地コンクリート・モルタルが健全な状態であることとします。 不具合箇所がある場合は適切な方法で補修します。		
下地処理		高圧洗浄機で水洗浄し、塵や埃を除去します。		
プライマー塗布 1回目	タケシール AE-2117プライマー	タケシールAE-2117プライマーをローラー又は刷毛で塗布します。	0.15	3～4時間以上 4日以内
プライマー塗布 2回目	タケシール AE-2117プライマー	タケシールAE-2117プライマーをローラー又は刷毛で塗布します。	0.15	3～4時間以上 4日以内
中塗り塗布 1回目	タケシール 1液NEO <sup>+</sup>	タケシール1液NEO <sup>+</sup> を硬めの刷毛又はローラーで均一に塗布します。	1	24時間以上 3日以内
中塗り塗布 2回目	タケシール 1液NEO <sup>+</sup>	タケシール1液NEO <sup>+</sup> を硬めの刷毛又はローラーで均一に塗布します。	1	24時間以上 3日以内
上塗り塗布 1回塗り	タケシール SSトップ	タケシールSSトップを刷毛又はローラーで液溜まりができないように均一に塗布します。	0.12～0.15	24時間以上 硬化確認後軽歩行可

### 性能表

項目	結果	備考
60度鏡面光沢度	78	JIS K 5660 4.9
低温安定性	異常なし	JIS K 5660 4.8
鉛筆硬度	2B	JIS K 5600 5.4 凝集破綻
乾燥時間 (h)	指触乾燥	1以内
	半硬化乾燥	2～3
	硬化乾燥	5～6
伸び率 (%)	遊離塗膜	90
	複層塗膜	100
耐温水性	異常なし	50℃温水に1週間浸漬 ウレタン防水材複層シート
耐酸性	異常なし	5%硫酸に1週間浸漬 ウレタン防水材複層シート
耐アルカリ性	異常なし	5%炭酸ナトリウムに1週間浸漬 ウレタン防水材複層シート
可使時間 (h)	3以内	試験条件 23℃
促進耐候性 (2000hr)	光沢保持率 (%)	80
	色差 (ΔE)	1.0
		サンシャイカーボソーク灯式 色調：白 下地：アルミ板

### 性状表

項目	A液	B液 (g/レイ)	備考
配合比 (重量w/w)	1	10	
粘度 (mPa・s, 25℃)	450	400	自社試験法 (B型)
加熱残分 (%)	84	37	
主剤硬化剤混合時の 加熱残分 (%)	41		自社試験法 (105℃×3時間)
密度 (g/cm)	1.1	1.1	
主剤硬化剤混合時の 密度 (g/cm)	1.1		自社試験法 (比重カップ)

### 【材料取扱い注意事項】

- ◆容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。特に下記場所の保管は避けて下さい。
  - ・雨水や直射日光の当たる場所
  - ・高温多湿の場所
  - ・潮風の当たる場所
  - ・凍結の恐れのある場所など
- ◆顔料が沈殿する場合がありますので電動攪拌機で缶の底から十分攪拌して下さい。攪拌不足の場合、塗布後色ムラになる時があります。
- ◆小分けにする場合、B液及び硬化剤をよく攪拌してからハカリで重量を計量してご使用下さい。
- ◆小分け後の残り材料はできるだけ早く使い切して下さい。
- ◆可使時間を過ぎた塗布液は使用しないで下さい。
- ◆使用時の塗料温度の管理は、5℃～35℃以内で行って下さい。
- ◆タケシールSSトップは無希釈でご使用下さい。やむを得ず希釈が必要な場合は清水にて最大3%以内で希釈して下さい。
- ◆他の水性塗料との混合はお避け下さい。

### 【施工時の注意事項】

- ◆施工中、施工後の養生中は換気をよくして下さい。
- ◆夜露が降りる恐れがある場合、午前中に塗布作業を終了して下さい。
- ◆同一床面では休まずに塗布して仕上げして下さい。色ムラ・段差が発生する場合があります。
- ◆一度に厚塗りすると発泡、塗膜の割れ等の不具合の原因になりますので、厚塗りで液だまりが出来ないように塗装して下さい。特に不陸部分やコーナー入隅部分で発生しやすいのでご注意ください。
- ◆雨跡が残る下地への塗布作業は避けて下さい。  
(雨跡はウエス等で必ず除去してから塗布して下さい。)
- ◆弊社指定防水材の上塗り目的以外の使用は行わない
- ◆詳細な内容が必要な時は、安全データシート (SDS) をご参照して下さい。

### 【下記のような場合は塗布作業を避けて下さい。】

- ◆塗布後4時間以内に降雨・降雪の恐れがある時。
- ◆湿度が80%以上の時や場所。
- ◆強風などで塵やほこりが舞う恐れがある時。
- ◆気温5℃以下の時又は塗布後6時間以内に気温が5℃以下になる恐れがある時。
- ◆気温が35℃を超える炎天下の場合など被塗物や気温が異常に高温の時。

### 【安全上の注意事項】

- ◆取扱中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
  - ・防塵マスク・頭巾・保護メガネ・長袖の作業着・襟巻タオル・保護手袋・前掛けなど
- ◆皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、医師の診察を受けて下さい。
- ◆蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ◆目に入った場合には直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ◆誤って飲み込んだときは、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ◆取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分行って下さい。
- ◆処分する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

## 竹林化学工業株式会社

〒577-0836 東大阪市澁川町三丁目1-43

TEL 06-6721-6165 (代) FAX 06-6720-7308

URL <http://www.takebayashi-ci.com>

E-mail [info@takebayashi-ci.com](mailto:info@takebayashi-ci.com)